

THE~KOBECO

9



SEPTEMBER 1974 NO.161

神戸っ子

神戸っ子 昭和40年1月20日第三種郵便物認可
昭和49年9月1日印刷 通巻161号
昭和49年9月1日発行 毎月1回1日発行

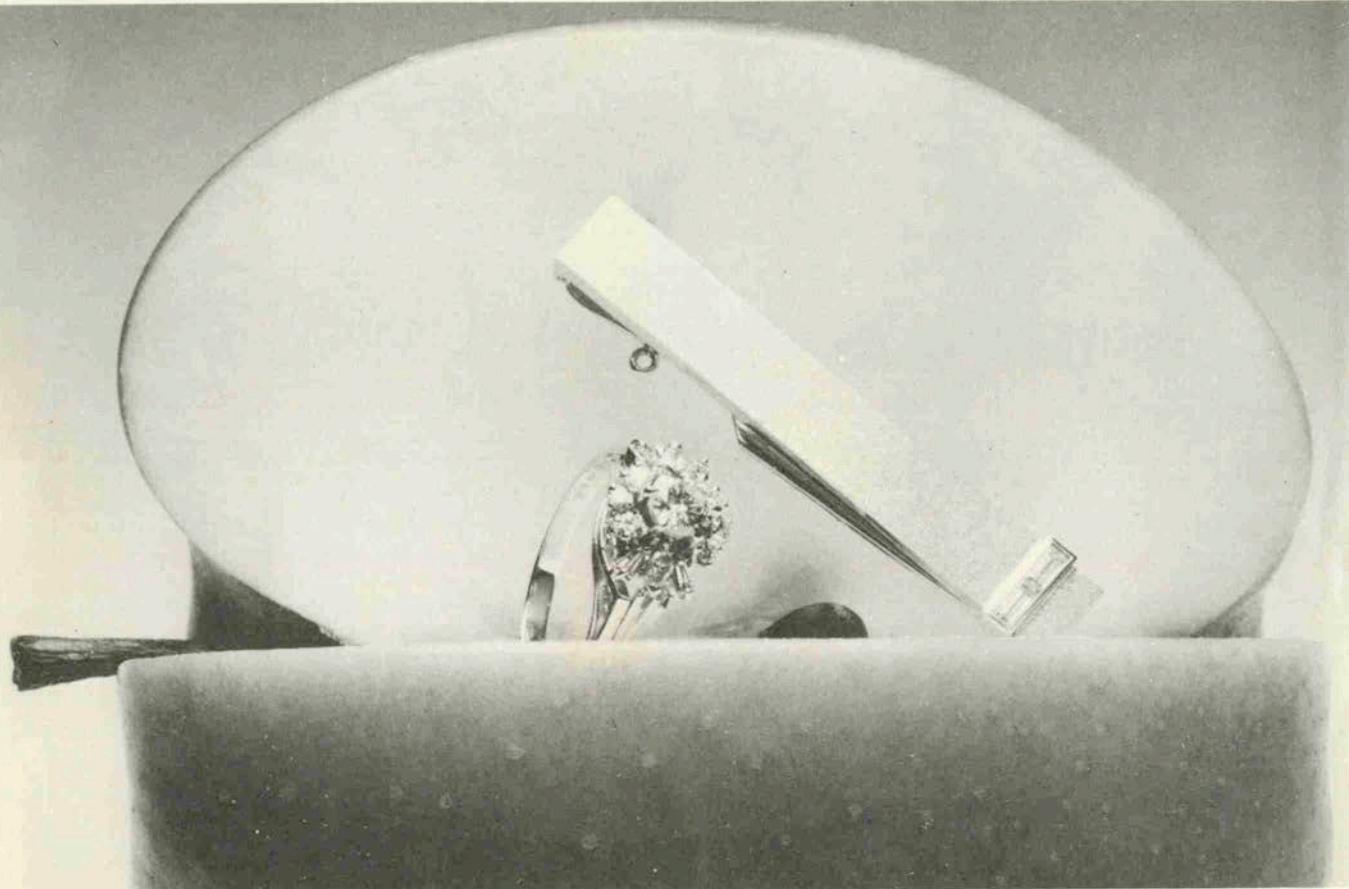


秋。美しくさわやかに —



婦人服飾
神戸 ベニヤ

神戸 三宮センター街 391-5528・9
さんちかレディスタウン 391-1204
大阪 梅田阪急三番街 372-8093
上本町近鉄百貨店 2 F 779-1231
ミナミ地下センター 213-6128
東京 日本橋東急百貨店 1 F 211-0511
モデル／堀越美智子
Photo／藤原保之



ミキモトは、キューピット。

ダイヤモンドが、愛の矢になって、二人の明日を実らせるのです。

世界の宝石店

MIKIMOTO

神戸=三ノ宮=神戸国際会館

TEL 221-0062

大阪支店=堂島=新大ビル TEL 341-0247

京都支店=河原町蛸薬師=BAL 4階 TEL 241-2970

●大阪=高島屋・阪急・阪神・松坂屋

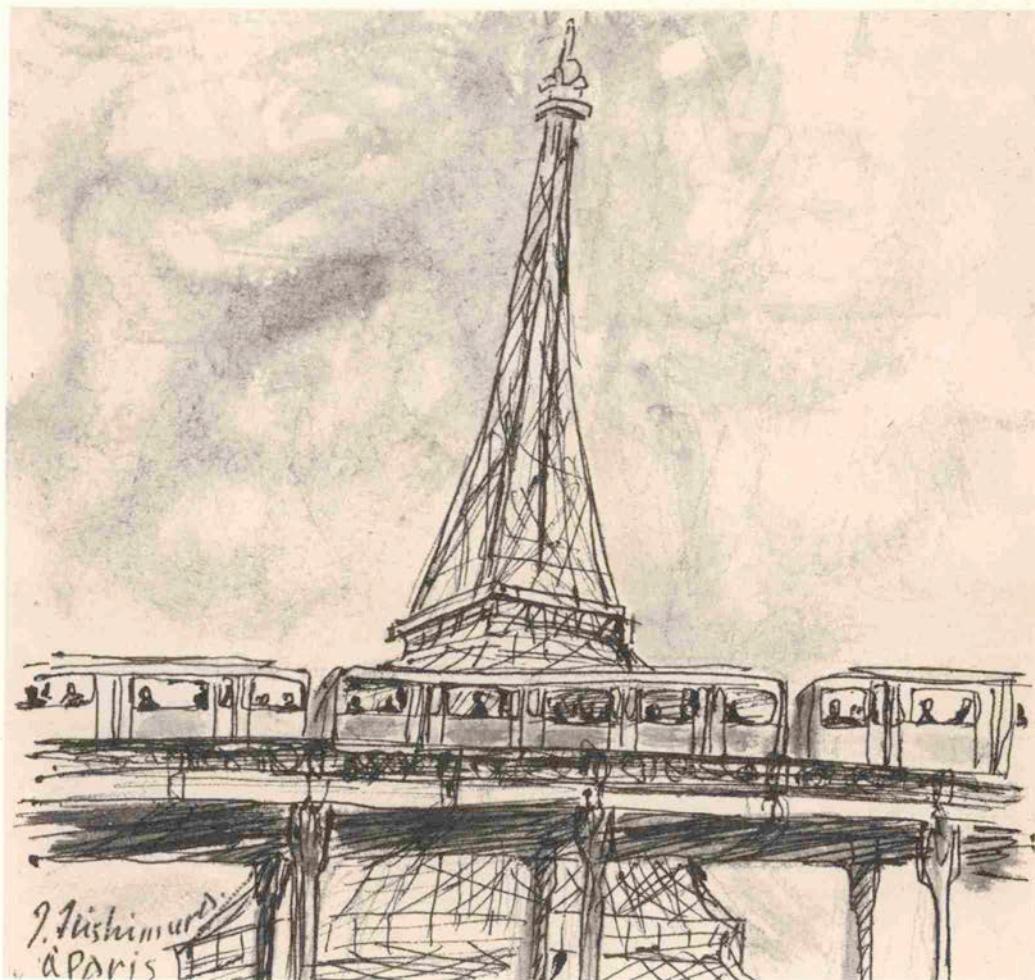
近鉄上六店・近鉄アベノ店・大阪国際空港

本店=東京=銀座 4丁目

旅のスケッチ<9>

ビルアケム橋の上をメトロが走っているところ／絵・文西村 功

エッフェル塔をバックにメトロの赤とグリーンが映えて美しい



初秋の北野町の坂道を
優雅に彩る《ハイドパーク》の新しい装い



■PARIS COLLECTION

Elégance
LEONARD
JEAN PATOU

ORIGINAL FASHION

HYDE PARK

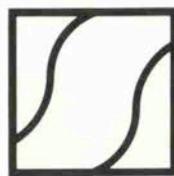
1-35 YAMAMOTO-DORI
IKUTA-KU KOBE
Tel. 221-6077

la boutique charmante
セリザワ

美しい感覚と最高の品を希む

淑女のためにセリザワがお届けする
おとななファッショニ

いまあなたにエレガントな輝き



serizawa

本店=神戸市生田区三宮町3-18



妖精のよくな女の子

手塚博子

(学生) カメラ・米田定蔵

神戸から東京へ行く気軽さで国外へとび出して行く。そんな若者が増えてきた。手塚博子さん(二十歳)もそのひとりだ。何冊かの本を片手にひよいとアメリカへとんで行き、休暇になれば、また、ひよいと日本へ戻つて来る。そんな感じがする。甲南高校在学中に留学生としてニューヨークへ渡つたのがきっかけで、現在、ロスのオキシデンタル大学に在学中。数学が得意でコンピューターの勉強のかたわら、スペイン語、フランス語の習得にも意欲を燃やしている。おまけにアルバイトで日本語を教えてもらっている。入学以来ずっと寮生活をしているが、それが楽しくて仕方がない。が、遊びは遊び、勉強は勉強。毎日の生活の楽しさと勉強の厳しさは表裏一体のものだ。アメリカの学生は早くから自分の将来を決定する。愚図愚図してはいられない。将来……。まあ、慌てる事はない。ゴーイングマイウエイで行くしかない。九月にはまたアメリカへ戻る。世界各国の同世代の友人は多いのだが、日本人が少ない。それがチヨッピリ悩みの種なのだ。須磨区在住。

(自宅にて)

長い冬の訪れを待つ
日射しを背に受けながら
赤く染まつた



宝石各種



トアロード
神戸ダイヤモンド
KOBE DIAMOND

TEL. 078(331)0690・2397

魂を揺さぶるような踊りを

藤間緑寿郎

（邦舞家）カメラ・米田定蔵

天正八年播州三木城は二年にわたる籠城戦で、城内は餓死者が相次ぎ、地獄の様相をいや増していく。大将長治は二三歳。一族の自害を代償についに羽柴秀吉に降伏を申し入れ、ここに別所氏は滅亡した。陰惨をきわめた籠城戦として戦史にも名高い三木合戦。三木生まれの藤間緑寿郎さん、九月一日のはじめてのリサイタルでは、悲劇の大将長治、夫人、家臣、領民、そして時を経て城跡に佇む旅僧、これだけの役を衣裳を替えず素踊りで演じる。

「古典はもちろん大切なものが、僕にとって踊りの魅力は、素踊り。これからも素踊り形式を極めていきたい。今度のリサイタルはその手始めです」。六歳で藤間緑寿郎師の内弟子に入る。十二歳母が逝去、両親とも失った時には、「僕は生涯日本舞踊をやつていこう」とすでに心に決めていたという。たとえば、春、つくしが芽を吹いているのを見て、春だなあ、と感じる。そんな「日本的なもの」が好きで、それを踊りに表現、伝えていきたいという。





神戸百景
神戸夜景
白川 涼
^作家^

49

わが家は少し高台にあるので、神戸の夜景はさして珍しくない。が、かれこれ二十年前、仕事のためにしばらく六甲山上のホテルに滞在した時、そこから眺めた眼下の街の灯に、はじめて「百万ドル」の真価を知った。季節は九月にはいつて間もなく。時刻は午前三時過ぎ。執筆に倦んじた眼をふと晩闇の窓外にやつて、私は唸つた。見なれた夜景ではなかつた。季節のせいか、時刻のせいか清澄な大気の中で、眼下のダイヤの大群が一粒一粒まるで生き物のように烈しく犇めき合つていたのである。「百万ドルの夜景」と言つた安手な形容は、あまり好きではない。が、この夜ばかりは掛値のない景観であった。

カメラ
小山 保



ロックガーデン
山本吉之助

（兵庫県山岳連盟副会長）

神戸百景

50

芦屋の街
から僅かに
三十分のア
ブローチで高山へ来たよう
な岩場が展開する。

ロックガーデンは標高こ
そ低いが、日本の近代アル
ビニズム発祥の一地点であ
り、アルプス、ヒマラヤに
通じているともいえる。

日本のロッククライミン
グは藤木九三翁等によつて
ここに芽生え、たゆまぬ發
達をとげた。

かつてアルプスやヒマラ
ヤに登つた人々の大半はこ
こを訪れているし、今もヒ
マラヤへの望みを抱く若者
はこここの岩場に汗してハ
ケンを打ち、ザイルをさば
き、三点支持の確保を身に
つけ、大きな夢を育ててい
る。



（ラジオ関西取扱役編成局長）

須磨浦公園

神戸の街で、ここ須磨浦
ほど海と山とが近々と迫り
あつて見事な融合をみせて
いる所はない。

春爛漫の桜吹雪の日、な
だらかな傾斜に恵まれたこ
の公園をそぞろ歩く時、哀
れ首を打たれた平家の公達
敦盛の碑をみつけて、誰も
がしばし足を停め遠い歴史
への瞑想にふける。瞼のう
らに絢爛たる合戦絵巻がく
りひろげられ、開けばキラ
キラと眩しい陽光をあびて
瀬戸の内海が目前にひろが
り、淡路、家島が遠望できる。
心に自然の静謐を求める
ならば、春はもちろんとり
わけ冬ざれの須磨浦を歩き
たい。

そういえば山の中腹に芭
蕉の次の句碑もあつた筈だが。
かたつむり 角ふりわけよ
須磨明石

神戸百景

51



平野の祇園

花柳芳恵一子

（邦舞家）

戸百景

52

祇園さん
背中に負ふ

さつて連れ
られた頃か

ら毎年かかさずお参りする
平野の祇園さん、ここ暫く
ごぶさた。妙である。よほ
ど忙しかったのかな。

打ち上げる花火に見とれ
上を見上げるとヅツとする

石段、人波に引きずられて
のぼり切り巫子さんの舞、

ご参拝もほどほどにあちこ
ちの店をひやかし、ぶらり

ぶらりトウモロコシを片手
にゆかたの袖をたくし上げ

しゃがみこんでの金魚すく
いに喜々となり、となりに

陣どつた子供達といつしょ
に夢中で、ハッカパイプ甘

酒みたらし団子射的：お祭

りもまた楽し。夜店のさわ
めきどこかで売る風鈴の音

色、昔も今もかわらぬ情景
に安堵を覚え即、童心に帰
れる祇園さんがいつまでも
夏の風物詩であつてほしい。

トア・ロード

（神戸ドレスメーカー女学院院長）
福富芳美

居留地が出来たとき、そこに来た外国人たちは北野の山裾にすまいを作つた。

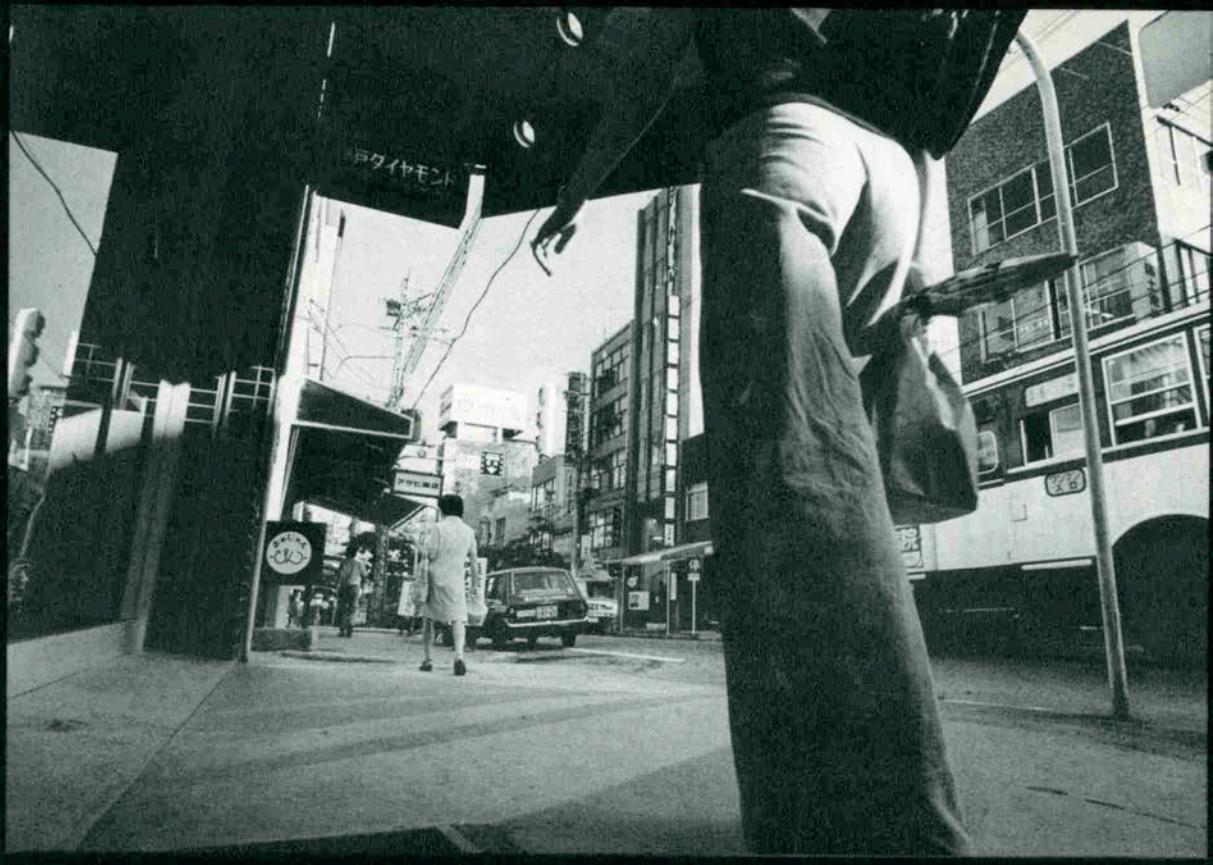
現在の外人クラブのある場所には独逸系の基督教信者たちの下宿屋があり、その傍にお稲荷さんが祀つてあった。下宿屋がホテルに転身したときに鳥居、すなわちTOR（独逸語の門といふ意）なのでトア・ホテルと名付けられ、居留地とをつなぐ路がトア・ロードとなつたと聞いている。

山から海へ真すぐに広い坂道に、いつのまにか各国の商人たちが住みついて、エキゾチックなファッショニアベニューに育つた。

しかしこれは戦前の話。
今は昔の雰囲気もうすれて少し淋しいけれど、日本人のトア・ロードとして新しい街づくりが出来、それはそれで神戸センス豊かなすばらしいフアッショングの街である。

戸百景

53





神戸百景

54

神戸市役所

鳥田家弘
〔神戸大学工学部教授〕

完成した時の市庁舎は、海の色をして明るく清潔だった。そのまま市政の明るさをおもわせ、必要かつ十分な数学の証明に似て何の気張りもない、後の高度成長期に出たブソイドモニュメンタルな水ぶくれデザインがないのが良かつた。

いま、そのガラスブロックや壁面は、かつてのパリほど黒くはないが大分よぎれている。青い海を取り戻すように洗つてほしい。一層明るい神戸市政の象徴となるようにな。

世界の一流品を集めたトアロード<クロス>



クロスが広くなりました。2階がぐっと充実。ゆったりと品選びができるサロンで、スペイン家具など世界の一流品を揃えています。
新しいクロスの部屋へぜひお越しください。

靴と舶来雑貨
クロス

神戸トアロード TEL 391-1781(代)
神戸生田筋 TEL 331-5983
さんちかレディスタウン TEL 391-2562



ある集い★兵庫県彫刻家連盟



昨年七、八、九月甲山森林公園で石彫シンボジウムが行われた。炎天下、一m角長さ二mにも及ぶ原石への彫琢。彫刻家の意図を表現するため、各彫刻家の構想通りに、自然の美と文化に協力したいと願う彫刻家がいて、今、公園には、兵庫県彫刻家連盟のメンバー十四人によって完成された作品が自然の中確かな位置を占めている。

「深い緑を背景にくっきりと陰影を刻んで立つ白亜の彫刻は無限の空間に対峙して事物の実存を意義づける。それは彫刻の本質と共に理想もある」という新谷秀夫代表の言葉は味わい深い。

文化ホール周辺の煉瓦道、東遊園地内の彫刻群など、アトリエから出た製作活動が町の角などで人々の目に飛び込んでくる。

その行動的な姿勢と成果に対し、神戸市「人間環境都市宣言記念文化功労賞」（48年7月）、兵庫県「半どんの会文化賞団体表彰」（48年12月）、神戸新聞「神戸新聞文化奨励賞」（49年5月）と相ついで賞が送られた。社会的期待も大きい。

完成近い中国縦貫道路の沿線の播磨内陸中央公園においても、シンボジウムの展開が予定されている。

（写真上）三賞受賞賀会
（下）甲山森林公園石彫シンボジウム
（36ページもご覧ください）



この秋 ファッショナブルな 格調ある 〈コベック〉へ

服飾のロビー
Covec

湊川公園 パークタウン2F TEL 521-1789

女の服飾 **クロタ**
湊川パークタウン1F TEL 511-4067

■'74秋・冬コベックヨーロピアンコレクションショー/9月初旬 於コベック



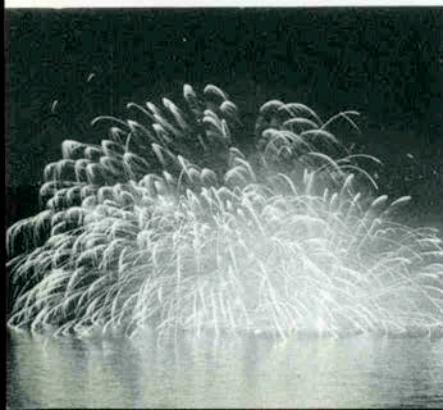
コウベスナップ

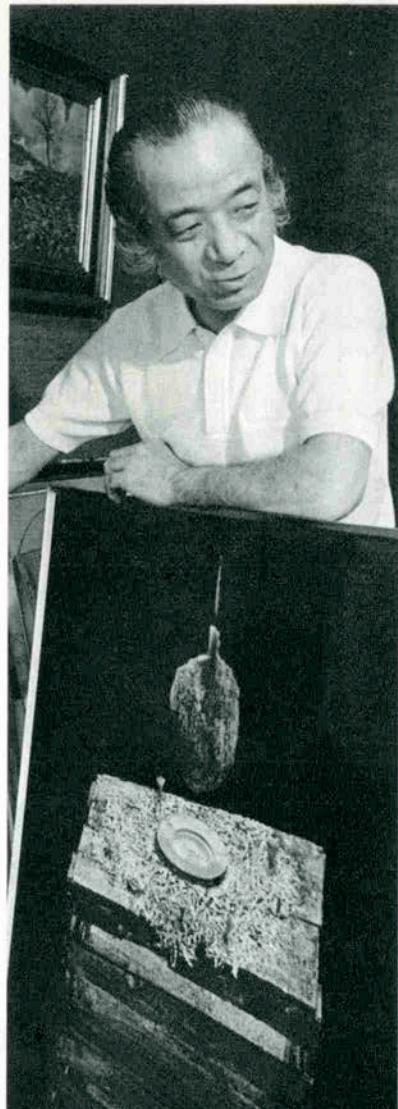
夜空を彩る大輪の花々

今年もまた海の記念日がやつてきた。
第三十五回目を迎えて色々な催し物が行
われたが圧巻は花火大会――。

「みなとこうべ海上花火大会」（神戸
市海事広報協会ほかの主催）も今年で第
五回目に当たり、八月四日の午後八時か
ら、神戸港第四突堤ポートターミナル東
の海上より、打ち上げ花火七百発、仕掛け
花火五基が点火された。

この日、ポートターミナル、ポートア
イランド、神戸大橋には約三万人がつめ
かけ、頭上に花ひらく光と音の饗宴にし
ばし暑さを忘れ見とれていた。





KOBECCO GALLERY

（9）河野通紀

神戸つ子 ギヤラリー

何を表現してやろうか、心の中の表現目標を象徴するに都合のよい素材を探し、目的に従つて効果的に構成する。一枚の絵を描くことを十とすればここまでまでの作業が六。これで静物画の勝負は決まる。木炭でデッサンを始め仕上げまでの作業は四、感覚的に自由で面白くもある反面もの、というもの越えがたい不自由さがある。

絵は心象表現である。河野氏の長い画歴の中にも折にふれての心の動きにより作風の変化がみられる。生活感情を社会風刺に込めて描いた時代、次いでエロチズムの追求、人間性の根源として生きる喜びを描いた時代、これを逆手にとって自分なりの頭にえがく死の象徴を描き、観賞者的心の中から生きる喜びを湧きおこさせるそんな時代——どれもが頑固なまでの細密な表現による静物画である。

そしてこれらの絵の効果を最大に發揮させ、この人の絵の特長でもある黒のバックは三十年以上も前からずっと今まで生きているのである。

性格がとことん丁寧に描き込まないと気がすまない、ところが絵というものは息ぬきの部分が必要でしょう。特に東洋画の場合、無限性、神秘性のある余韻が重視されますよね。そこで自分なりに消化したのが素材にとりあげた画材は徹底的に細密に描き、バックは無表情で無限空間をいみする黒にするという技法です。

黒は主体を殺す壁にもなりかねないのだがこの人の手にかかると得体の知れない空間が生まれる。東洋人としての思想を西洋でつくりだされた油絵でもつていかにうまく表現できるかというライフワークをもつ河野氏。精神的に影響を受けておらない日本人の心を油絵にと淡淡と語るのである。

●こうの みちただ

●こうの みちただ
金三に師事す。●1954年大阪市に生まれる。大阪中之島洋画研究所に学び国技60年 現代日本美術展招待出品●1954年行進美術協会会員推薦●1955年6月19日枝美術展招待出品●1957年サンバウロ・ビエンナーレ国際美術館出展品東西文化交流アメリカ巡回展作品アーリカ・オレゴン大学美術館コレクション●1959年兵庫県新作展アーリカ・オレゴン大学美術館出展●1964年西宮市年国際具象派美術展出品●1968年欧遊●1969年西宮市主催「眞像人間」5人展出品(以降毎年出品)西宮市在住
主米文化賞受賞●1970年「眞像人間」大坂市に生まれる。大阪中之島洋画研究所に学び国技催●1971年アーリカ巡回展作品「オレゴン大学美術館コレクション●西宮市在住
●1971年兵庫県立近代美術館コレクション●西宮市在住



壺と蝶
(F 20)